2016 年 7 月 24 日（日）オープンキャパス 開催報告

〇タイムスケジュール

森林科学科	学科ガイダンス ①は指定席券が必要です。	① 9:30～10:20 ②10:50～11:40 ③12:10～13:00	稲垣記念会館1階 ①105講義室 ②106講義室 ③105講義室	学科紹介（各学科ガイダンス後に、ビデオ放映、ツアー・展示の紹介を20分程度行います。）
	模擬授業 宮島久士 教授	①10:50～11:40	稲垣記念会館1階 105講義室	「未来を切り拓く木質バイオマス」 木質バイオマス（木材）は、床や柱、家具、薪などに使われていて、古くからとても身近な材料です。しかし、そもそも木質バイオマスとは何なのでしょうか。なぜ今注目されているのでしょうか。どんな使い方があるのでしょうか。木質バイオマスはエコで、エネルギー・環境問題の解決の糸口となると言われていますが本当でしょうか。そのような疑問に答えながら、先端的な利用技術も概説し、古くて新しい材料である木質バイオマスを使うとどんな未来が創造できるのか、紹介したいと思います。
	模擬授業 上田正文 准教授	②12:10～13:00	稲垣記念会館1階 106講義室	「ブナ と ツキノワグマ と 温暖化」 近年、ツキノワグマ出没のニュースを目にする機会が多い。それらを見ていると、幼獣（小グマ）が捕らえられる様子が映し出される場合が少なくない。なぜ、幼獣が捕らえられる機会が多いのかについて、ツキノワグマの生態とツキノワグマとの関係が深いとされる我が国の温帯落葉樹林を代表する落葉高木であるブナの結実との関係から解説を行う。また、昨今、懸念されている温暖化が、ブナとツキノワグマの将来におよぼす影響についても検討を加える。
	模擬授業 美濃羽靖 講師	③13:30～14:20	稲垣記念会館1階 105講義室	「Terra Green Network ～世界中の植物マップをみんなで作ろう～」 Terra Green Network（通称TGN）とは、「世界中の植物マップをみんなで作る」ことをゴールとしたプロジェクトです。地図を作るためには、知識とマンパワーが必要です。ただし、研究者だけでは知識はあっても人数が少ないため世界中の植物と出会うことができません。一方、一般の人々がたくさんいれば、出会いの機会は増えますが、植物の名前がわかりません。この問題を解決する手段として、TGNではみんなが使える樹木の種を自動識別するスマートフォンアプリケーションの開発を行っています。そこで、本授業では、スマートフォンアプリケーションの心臓部となる「葉画像から植物を分類するアルゴリズム」についての成果を紹介します。
	学科アラカルト	10:30～16:00	3号館3階会議室	・学科展示と相談コーナー
		①11:50～12:40 ②13:10～14:00 ③14:30～15:20	稲垣記念会館1階 ①105講義室集合 ②106講義室集合 ③105講義室集合	研究室ツアー （3号館3階、6号館2階、学内テント（演習林の紹介））
		高校生のための「大学の森・森林科学野外実習コース」を大枝演習林において7月25日（月）に実施します。詳しくは森林科学科または附属演習林のホームページをご覧ください。		

ガイダンス

学科ツアー（水理実験棟）

演習林森なかまテント

学科展示 1

学科展示 2

学科展示 3